2025年7月22日

関係各位

野村證券株式会社

五常・アンド・カンパニーの新たな資金調達方法に対応した ソーシャルファイナンス・フレームワーク策定を支援

野村證券株式会社(代表取締役社長:奥田健太郎、以下「当社」)は、五常・アンド・カンパニー株式会社(代表執行役:慎泰俊、以下「五常」)による、新しいソーシャルファイナンス・フレームワーク(以下「本フレームワーク」)の策定を、ストラクチャリング・アドバイザー*として支援しました。グローバルで広く使われている基準で株式まで含めた資金調達に対応するソーシャルファイナンス・フレームワークの策定は本邦初の取組みとなります。

サステナブル・ファイナンスは、債券・ローンによる発行体の持続可能性のある事業の資金調達手段として発展してきました。一方、株式によるサステナブル・ファイナンスは、未だ画一的なルール等が整備されていない状況にあり、資金調達手段としてのニーズに対応できていませんでした。

本フレームワークでは、マーケットで浸透しているサステナブル・ファイナンスに関する原則等(国際資本市場協会(ICMA)によるソーシャルボンド原則 2023 およびローン・マーケット・アソシエーション(LMA)、アジア太平洋ローン・マーケット・アソシエーション(APLMA)、ローン・シンジケーション&トレーディング・アソシエーション(LSTA)によるソーシャルローン原則 2023)を、株式にも準用し、債券・ローンに加えて株式による資金調達にも対応した新たなソーシャルファイナンスの取組みとなります。その独自性・新規性を踏まえ、国際的な評価機関である ISS-Corporate より適格性の評価を取得しました。

五常は、マイクロファイナンスのグローバルリーダーとして「民間版の世界銀行」となることを目指し、世界中に金融包摂を届けるミッションに取り組んでいます。本フレームワークを通じ、五常はグローバルで多様な金融商品による資金調達を行うことが可能となり、調達された資金は、金融サービスへのアクセスが限定されている人々や、農村部に暮らす女性を含む社会的に弱い立場にある人々等に対して包括的な金融サービスを提供するために使用されます。

国内外において様々なサステナブル・ファイナンスが登場する中、当社は今後も企業と資本市場との建設的な対話の橋渡し役として、企業の持続的な価値創造を支援していきます。

* フレームワークの策定および第三者評価取得の助言等を通じて、ソーシャルファイナンスによる資金調達の支援を行う者

【ご参考】

五常によるソーシャルファイナンス・フレームワーク

https://gojo.co/wp-content/uploads/2025/07/Gojo_Social-Finance-Framework_Japanese.pdf

ISS-Corporate による第三者評価「フレームワークの外部検証」

https://gojo.co/wp-content/uploads/2025/07/Gojo_Bespoke-Social_UoP_Japanese.pdf

以上